

# 愛称通りを歩く 13

## 住吉銀座通り



時刻が午後4時に近づく、商店街はにわかに活気づいてきます。毎日午後4時から6時は歩行者天国、八百屋は歩道に彩りよく野菜を並べはじめ、肉屋の前には焼き豚、若鶏の蒸しものなどのお惣菜がずらり。まるで市場に迷い込んだような雰囲気、思わずお腹がグツツとなってしまいうです。

地下鉄都営新宿線「住吉駅」に程近い、ここ住吉銀座商店街は、もともと牡丹橋通り商店街という名前だったので、今から約20年前に「住吉銀座商店街」と名を改めました。

「当時銀座といえば、盛り場の代名詞でしたからね」というのは、住吉銀座商店街振興組合代表理事の黒柳醇一さん。ここで40年近くおごん種の店を営んでいます。

「組合に加盟している店は全部で43軒、毎週土曜日には大安売りのびつくり市もやっています。以前は周囲に材木屋が多く、店で従業員用の食事も賄っていたため、肉、魚、野菜と全部揃うこの商店街は重宝されたもんだよ」

時代の流れとともに、人の流れも変わります。今ではお年寄りや少人数の家族が多くなったため、



じゃがいも1個30円、チンゲンサイ1つ15円、りんご1個40円とすべて1個単位で買えることが、商店街ならではの喜ばれているそうです。

材料を吟味し、昔ながらの製法にこだわった、真正正銘の手作り豆腐。現在建て替え中のため、路地裏で仮店舗を営んでいるのです。

が、大手スーパーのナイロン袋を両手に抱えた主婦が、豆腐だけはここと、わざわざやってきます。業者に引き取ってもらうため、通りに出す大きなおからの樽が目印です。

薬局の角には、「今月のテーマ『運動不足』大手を振って歩こう」と掲げてありました。気さくな下町商店街ならではの心遣いでしょ

厚い新聞の束を抱えた純朴そうな新聞少年が駆け抜けていきます。「はいおつり50両」と言われ、笑顔で答えるお母さんたち。買い物を終えると、そそくさと自転車で家路へ急ぎます。そろそろ夕ごはんの時間です。

**MAP**

至錦糸町

深川七中

住吉銀座通り

八戸屋肉屋

風呂屋

都営新宿線(住吉馬場)

おごん種の店

新大橋通り

至東陽町

ツインタワーすみとし

香ばしい焼鳥のにおい、思わずゴロン!

店先の大きな鍋の中には、おいしそうなおでんが、ぐっ!

さあ、いよいよ安いわ! 威勢のいい掛け声、これぞ!